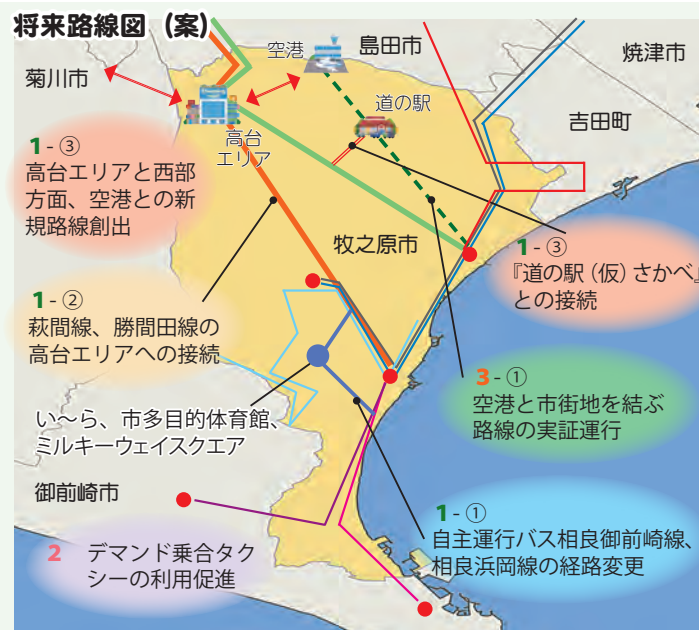


基本方針

1 交通ネットワーク

市のまちづくりと同じく、榛原、相良両市街地と高台エリアを結ぶ「富士山型ネットワーク」を基本に、バス路線の再編を計画します。

- ①富士山型沿岸部の路線
 - ・特急静岡相良線：榛原総合病院への乗り入れ時間帯の拡大検討
 - ・相良御前崎線、相良浜岡線：相良総合センター「い〜ら」や建設中の市多目的体育館「Gas One アリーナ 牧之原」へのアクセスが可能な経路の変更
- ②富士山型斜面部の路線
 - ・萩間線、勝間田線：高台エリアへ接続する経路の変更
- ③富士山型山頂部の路線
 - ・高台エリアから西部方面と富士山静岡空港への新規路線の創出
 - ・『道の駅（仮）さかべ』との接続



2 利便性向上、利用促進

基本方針1の「交通ネットワーク」を利用しやすいものとするため、公共交通の利便性向上につながる環境整備や利用促進を図ります。



- ①高齢者などの移動手段
 - ・市内全域を運行するデマンド乗合タクシーの分かりやすい周知と利用促進
- ②拠点バス停の環境整備
 - ・屋根・ベンチ付き待合所、駐輪場の整備
- ③誰もが利用しやすいサービス
 - ・バス利用者のニーズに合わせた路線図や時刻表の作成、時代に即した車両の導入（低床バス、ユニバーサルデザインタクシー、環境に優しいEV車両など）
- ④モビリティマネジメント（自家用車から公共交通への転換や利用促進）
 - ・バスの乗り方教室の開催、公共交通に親しむイベントの実施、環境施策との連携など

3 他分野との連携

本計画は、上位計画である「第3次牧之原市総合計画」との連動を図るため、総合計画の重点・戦略プロジェクトと連携した取り組みを計画しています。

- ①観光分野との連携
 - ・観光イベントとの連携、富士山静岡空港と市街地を直接結ぶ公共交通の実証運行
- ②移住定住、子育て支援との連携
 - ・バス通学の高校生を支援する取り組み
- ③DX（デジタルトランスフォーメーション）との連携
 - ・自動運転車両の運行などの交通分野のデジタル化
- ④市民、企業、交通事業者などとの連携
 - ・意見交換会の開催や運転手確保への協力



「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」
を支える地域公共交通の構築

牧之原市地域公共交通計画を策定

問い合わせ 地域振興課 増田隆助 ☎0053

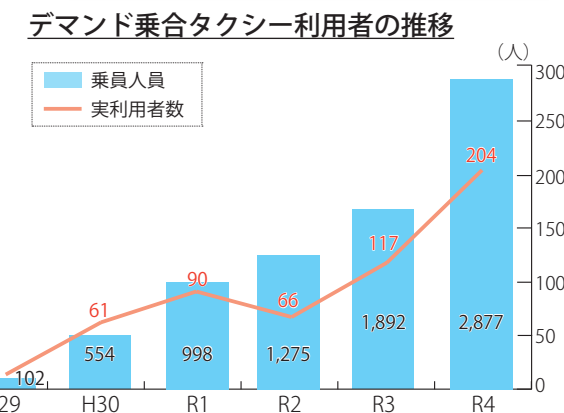
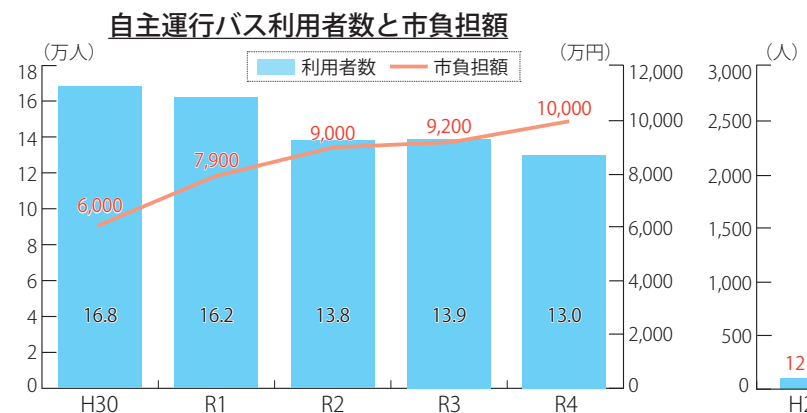
将来にわたって安心して住み続けられる牧之原市の実現に向けては、市民の移動を支える地域公共交通が不可欠です。また、東名相良牧之原IC北側の高台エリアや富士山静岡空港、沿岸部の賑わい施設の整備により、今後、市外からの交流人口の増加も期待される中で、市を訪れる人の公共交通も欠かせません。市では、牧之原市の移動を支える地域公共交通の方針を示す「牧之原市地域公共交通計画」を策定しました。計画の期間は、令和5年度から8年度までの4年間です。今後は、市民の快適な移動や市を訪れる人の移動手段の確保など、この計画に基づく施策を実施し、公共交通の利便性向上を推進していきます。

地域公共交通計画の計画書は、市HP（右の二次元コード）をご覧ください。



持続可能な公共交通を目指して

公共交通の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に大きく減少しました。現在、働き方などの社会生活の変化により、以前の状態に戻ることは難しい状況です。利用者と運賃収入の減少により、市の負担は年々上昇していることに加え、全国的な問題である運転手不足が進めば、現在の公共交通を維持することは困難となります。一方で、市内全域で導入している会員制のデマンド乗合タクシーの利用は増加しており、高齢者などの通院や買い物などの生活に欠かせない移動手段となっています。今一度、地域の皆さんが支える公共交通であることを認識していただき、公共交通施策の推進に対するご協力をお願いします。



運転手募集

各交通事業者では、市の公共交通を担う運転手を募集しています。興味のある人は、以下にお問い合わせをお願いします。

- [路線バス] しずてつジャストライン(株) 人事部人材支援課 ☎054-267-5153
 [タクシー] ▶東海タクシー(株) ☎0288 ▶御前崎タクシー(株) ☎02655



時刻表や路線図

市内を走るしずてつジャストラインの路線バスや自主運行バス、デマンド乗合タクシーの時刻表などについては各HPをご覧ください。

[しずてつジャストラインHP]



[市HP]

